

Challenge

チャレンジ

エレベーター・エスカレーターの設定・メンテナンスなどを手掛ける石田エンジニアリング(大阪市)は、今年2月に東京オフィスを開設し、事業を拡大。500人超の技術者集団を擁する同社は2024年度、新卒・経験者合わせて年間100人の採用を達成した。採用の秘訣(ひけつ)を東京支店総務部の阿部泰文部長代理に聞いた。

500人超の技術者集団

全国建設 人材協会 職人専門採用サービスを活用

= 石田エンジニアリング =

阿部氏は「今後の受注拡大には、現場の『主役』である職人の確保・育成が不可欠だ」と語る。ポイントは採用エージェントの活用と福利厚生への拡充だという。採用には、「全国建設人材協会」が運営する職人紹介サービスを活用。短期間で若手・中堅の据え付け工事スタッフを7人獲得できた。

同協会は、職人の人材紹介事業を展開しており、職人採用を希望する企業に対し、ニーズに合った求職者



東京支店総務部の
阿部泰文部長代理

(未経験・経験者)を紹介する。入社後のミスマッチを防ぐため、求職者と企業が顔を合わせる前に業界説明や企業説明を行う。紹介が成立した求職者の年代を見ると、10代、20代、30代が全体の9割を占める点も



職人紹介サービスを
活用して入社した
伊並拓未さん

特長だ。職人紹介サービスを活用して24年4月に入社した伊並拓未さんは、エレベーターの据え付け工事を担当。「給与だけでなく、さまざまな福利厚生が決め手だった。CG制作の専門学校を出て現場経験はなかったが、入社前後の協会からのフォローや充実した研修制度のおかげで、安心して働けている。将来は職長を目指したい」と意気込む。福利厚生では、資格取得

のサポートに加えて、旅行や食事、カラオケに使用できるリフレッシュ補助金、健康グッズやスポーツ用品の購入、ジム会費に使える健康増進補助金などがある。いずれも社員の何気ない一言からできたものだ。この他、休日勤務の際、平日に振替休日を取得した場合に支給される振替休日手当や直行手当などユニークな取り組みも多く、社員満足度の向上を追求している。

「稼ぎたい」「手に職をつけたい」と考える若者は多い。職人は、そんな若者にとって魅力的な選択肢となり得る。企業側も、未経験者を貴重な人材として歓迎し、育成と定着に力を入れている。